

おめでとうございます！

第91回選抜高校野球

優勝

東邦高校野球部二塁手
杉浦 勇介さん (3年生)

高取小学校・南中学校卒

「小さいときからお世話になった皆さんに
優勝をプレゼントできてうれしいです！」

この春の選抜高校野球でみごと優勝を果たした東邦高校。二塁手として出場し活躍した、高浜市在住の杉浦勇介さん(論地町)にインタビューしました。(4月5日)

甲子園はいつからの夢でしたか

小学生のときは高取ファイターズ、中学では愛知衣浦リトルシニアで野球をしてきました。

甲子園出場は小学生のころからのあこがれでした。テレビを見て、カッコいい！その場に立ちたい！と思いました。

モットーとしてきたのは？

辛い練習も、乗り越えた先に喜びが待っていると考えるようにしています。中学生時代に全国優勝を経験し、島田圭一監督に「辛いことをのりきった先におのずと結果がついてくる」と教えられました。

東邦高校はどんなチームですか？

僕たちは投手と打撃がバランスよく、足をつかうチームです。それを甲子園で発揮できたのが勝利につながったと思います。

そして、自分たちの頭でしっかり考えてプレーするチームです。監督が不在の時期もありましたが、戻ってこられたときに安心して指揮をと

れるように、自分たちで緊張感を持って練習しよう、と声をかけあいました。意識を高く持たなければ勝てない、と思ったからです。

僕自身は2番打者なので、後のバッターにつなげ、ランナーを進めること、また、球種を見極めるためにもいかに相手ピッチャーに多く投げさせるかを考えていました。

高浜市から応援団が大勢行きました

グラウンドに立つと、やはり甲子園はすごいところです。スタンドを見ると緊張してしまうので、意識して見ないようにしていましたが、高取ファイターズや地元の方が来てくださっているのを見つけ、「これはいいところを見せないと」と思いました。小さいときからお世話になった方への感謝をこめて、一生懸命プレーするのみ、と思えました。優勝をプレゼントできてうれしいです。



▲甲子園球場での杉浦選手
(写真はご本人からの提供)

1 回戦	3-1	富岡西(徳島)
2 回戦	12-2	広陵(広島)
準々決勝	7-2	築陽学園(福岡)
準決勝	4-2	明石商(兵庫)
決勝	6-0	習志野(千葉)